



(大名庭園 + 美術館) × 現代アート = 記憶の庭
菅亮平・柴川敏之とめぐる

庭園で美術を見る？
美術館で庭を見る？



<https://www.hpam.jp/>

2023 広島県立美術館2階[所蔵作品展第4室]+縮景園

7|6|土| ▶ 9|10|日|



広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

× 名勝 縮景園

〒730-0014 広島市中区上郷町2-22 tel.082-221-6246 fax.082-225-1444 ※展覧情報等に変更が生じる場合がございます。最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

休館日=7月10日(月) ※8月7日(日)は2階展示室閉室(縮景園は開館中無休) 時間=広島県立美術館 9:00~17:00(金曜日は20:00まで開館) / 縮景園 9:00~18:00 ※入場は閉館・閉園の30分前まで

入館料=[美術館・縮景園共通券]一般610円、大学生350円 ※その他のチケットあり [主催]広島県立美術館、縮景園

※学生券をご購入・ご入場の際は、学生証の提示をお願いします。 ※身体障害者手帳をお持ちの方や65歳以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料。(1階総合受付または縮景園受付でお申し出ください。)

◎おすすめチケット情報：7月22日~9月10日の期間中は、「魔法の美術館展」のチケットを購入いただくと+100円で縮景園含め本展をすべてご覧いただけます!

【概要】 庭園で美術を見る？美術館で庭を見る？

当館と、隣接する名勝・縮景園は、それぞれ美術館と大名庭園という 趣の異なる鑑賞空間ですが、本展ではこの両施設を一体的に繋げるため、築庭400年を超える縮景園の「歴史性」を一つの切り口としながら、2人の現代アーティストの作品を展示します。

菅亮平は、戦前の縮景園に設立された国内最初期の私立美術館である観古館や、園内の蔵に保管され、被爆による焼失を免れた能道具をテーマとした新作と、近世の美術作品を併置して、美術館と縮景園の接続を図ります。

柴川敏之は、身の周りにあるものを化石（出土品）へと変容させることで「2000年後の縮景園」へと来園者を誘い、未来の名所を今日に浮かび上がらせます。また、同氏は、所蔵作品展「魔法の広島県立美術館」において、当館を代表する作品、サルバドール・ダリ《ヴィーナスの夢》ともコラボし、当館のコレクションへの新たな視点を提示します。

美術館と庭園、過去・現代・未来とを現代アートを介して繋げようという本展。この夏は、池泉を中心とする回遊式庭園である縮景園とともに美術館も併せてめぐり、これまでになかった新たな鑑賞体験をお楽しみください。

【作家紹介&展示内容】

菅亮平(かん りょうへい)

1983年愛媛県生まれ。広島市立大学講師。美術館やギャラリーの展示空間そのものを題材とした制作活動を行う。近年は「空虚（ヴォイド）」への思索を起点にして、想起の芸術の今日的な可能性を追求する。

展示テーマ:「Half-life of Archetype」

縮景園ゆかりの被爆能面と観古館を手がかりとする企画

展示場所:2階所蔵作品展第4室+1階縮景園連絡通路



菅亮平《Candles - Death Do Us Part》2023年

制作協力:橋本健佑、舛本裕一、SEND Hiroshima Photo:橋本健佑



菅亮平《Waiting for Deity - Yogo no Matsu at Kasuga Taisha》2023年

柴川敏之(しばかわ としゆき)

1966年大阪府生まれ。1991年広島大学大学院修了。就実短期大学教授。ポンペイ(イタリア) や草戸千軒町遺跡(広島県福山市)との出会いから、「2000年後に発掘された現代社会」をテーマに、制作活動を行う。

展示テーマ:「41世紀の縮景園 | PLANET GARDEN feat. MUSEUM」

2000年後の未来で発掘されたとする「いま」の化石と、縮景園内のそれぞれの場所との関係性から新たな名所が提案されます。

展示場所: 縮景園 + 2階所蔵作品展第1室



柴川敏之の《2000年後に発掘されたダリの木(ヴィーナスの夢)》
2023年



柴川敏之の《2000年後に発掘された「招き猫」の化石》 2023年

【関連イベント】

■作家とめぐるギャラリートーク

①柴川敏之 7月28日(金) 15:00~16:00

会場: 2階展示室 + 縮景園(受付: 展示室入口)

②菅亮平 7月28日(金) 17:00~17:30

会場: 2階展示室(受付: 展示室入口)

各回定員16名/要入場券・入園券/要事前申込(電話082-221-6246)

■作家とめぐるワークショップ

①柴川敏之「2000年後へタイムスリップ!“いま”のモノを化石にしよう!」

8月10日(木) 13:00~16:00

会場: 広島県立美術館 地階講堂

対象: 小・中学生(先着12名)

②菅亮平「今日(きょう)の縮景園記」

8月12日(土) 10:00~12:00

会場: 縮景園内 清風館

対象: 小学生以上(先着10名)

持参物: スマートフォン(ボイスメモが可能な録音機器)

要入園券/要事前申込(電話 082-221-6246)

【開催概要】

メインタイトル: (大名庭園+美術館) × 現代アート=記憶の庭

サブタイトル: 菅亮平・柴川敏之とめぐる

会期: 2023(令和5)年7月6日(木)ー9月10日(日)

※美術館は7月10日(月)は休館、8月7日(月)は閉室 ※縮景園は開催中無休

会場: 広島県立美術館2階(所蔵作品展4室)、縮景園

時間: 広島県立美術館9:00~17:00(金曜日は20:00まで開館)

縮景園: 9:00~18:00

※入場は閉館・閉園の30分前まで

※開館情報等に変更の生じる場合がございます。

最新情報は広島県立美術館(電話・HP・SNS)まで

入場料: [美術館・縮景園共通券] 一般610円 大学生350円

美術館のみ: 一般510(410)円 大学生310(250)円

縮景園のみ: 一般260(200)円 / 高・大学生150(100)円 / 小・中学生100(80)円

※()内は20名以上の団体料金。 ※高校生以下無料

※学生券を御購入・御入場の際は、学生証の提示をお願いします。

※身体障害者手帳をお持ちの方や65歳以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料
(1階総合受付でお申し出ください。)

※特別展「魔法の美術館」展は別料金。ただし、同展チケットにより所蔵作品展は無料、縮景園には
同展チケット(半券可)のご提示により100円で入園できます。

主催: 広島県立美術館、縮景園

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail iroeuma2@gmail.com

担当 学芸課 山下 寿水

総務課 広報担当 一色 直香

— 当館公式SNSはこちらから —



【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用は御遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。御了承ください。

※画像については提供が可能です。掲載の際に画像が必要な場合は、当館へお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館まで提出いただき、

1週間程度お時間を頂戴いたします。御了承ください。